

2017年11月期第2四半期
決算説明会資料

2017年7月20日(木)

(東証第1部:8095)



イワキ 株式会社

本日のご説明内容

I .決算概況

II .セグメント別の概況

III .トピックス

IV .今後の見通し

I .決算概況

II .セグメント別の概況

III .トピックス

IV .今後の見通し

決算概況(2017年11月期第2四半期累計期間)

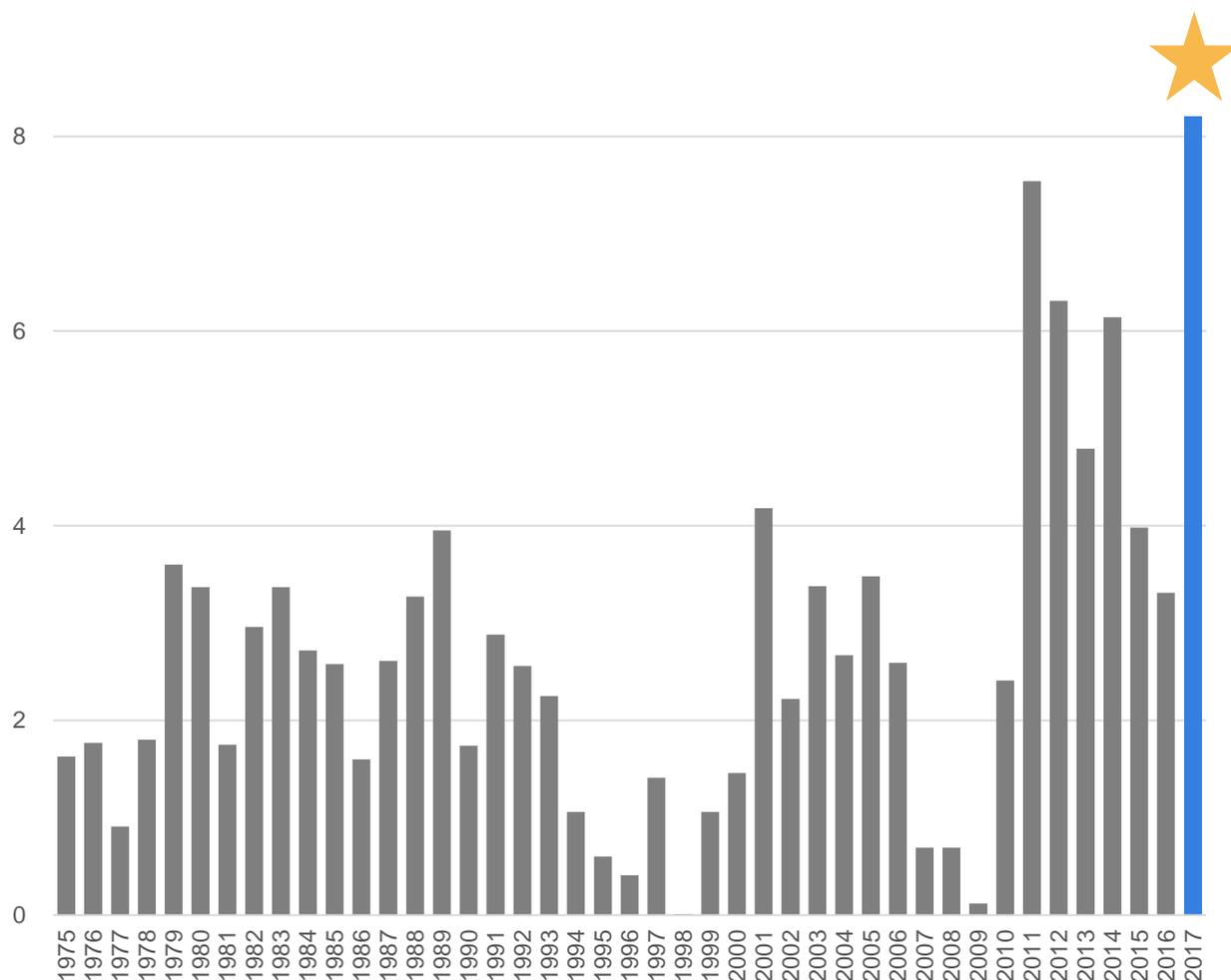
増収増益に加え、有価証券売却益等の計上により大幅な増益を達成。

	実績	前年同期差額	前年同期増減率
売上高	280億円	+12.0億円	+4.5%
営業利益	8.2億円	+5.0億円	+149.6%
経常利益	9.0億円	+5.7億円	+168.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	8.6億円	+7.7億円	+813.4%
■ 医薬・FC事業	営業利益向上	+1.9億円	
■ 化学品事業	営業損失幅大幅縮小	+3.0億円	
■ 特別利益	固定資産・有価証券売却益	+2.7億円	

注: 前年同期差額欄に「主要因」のラベルが記載されている項目は、医薬・FC事業、化学品事業、特別利益の合計である。

過去最高営業利益

第2四半期累計期間としては過去最高の営業利益を達成。

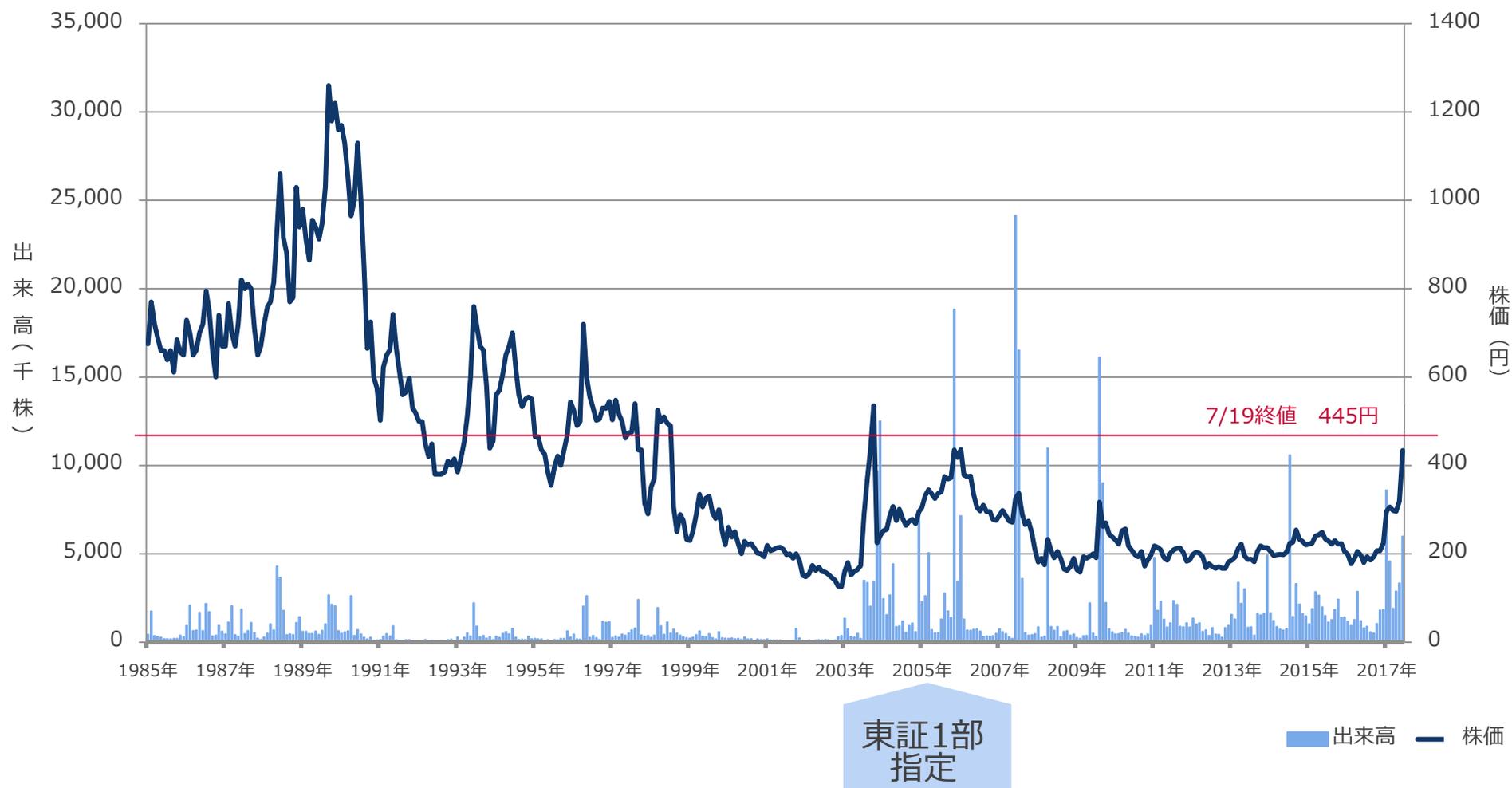


営業利益
最高益
8.2億円

※2000年以前は個別決算の数値を記載。

株価推移

本年1月より株価は上昇を続けており、東証1部指定以来最高の水準へ。



I .決算概況

II .セグメント別の概況

III .トピックス

IV .今後の見通し

セグメント別業績

全4セグメントで増収となり、営業利益面においても収益改善が進む。

セグメント	売上高		営業利益	
	実績	前年同期 差額	実績	前年同期 差額
医薬・FC 事業	105億円	+3.4億円	8.0億円	+1.9億円
HBC事業	114億円	+5.5億円	0.1億円	△0.1億円
化学品事業	30億円	+4.7億円	△0.1億円	+3.0億円
食品事業	19億円	+0.6億円	0.0億円	+0.2億円
その他※	10億円	△2.2億円	0.2億円	△0.1億円

※調剤薬局子会社をグループ外に譲渡したことにより減収

セグメント別売上構成

(2017年11月期第2四半期累計期間)

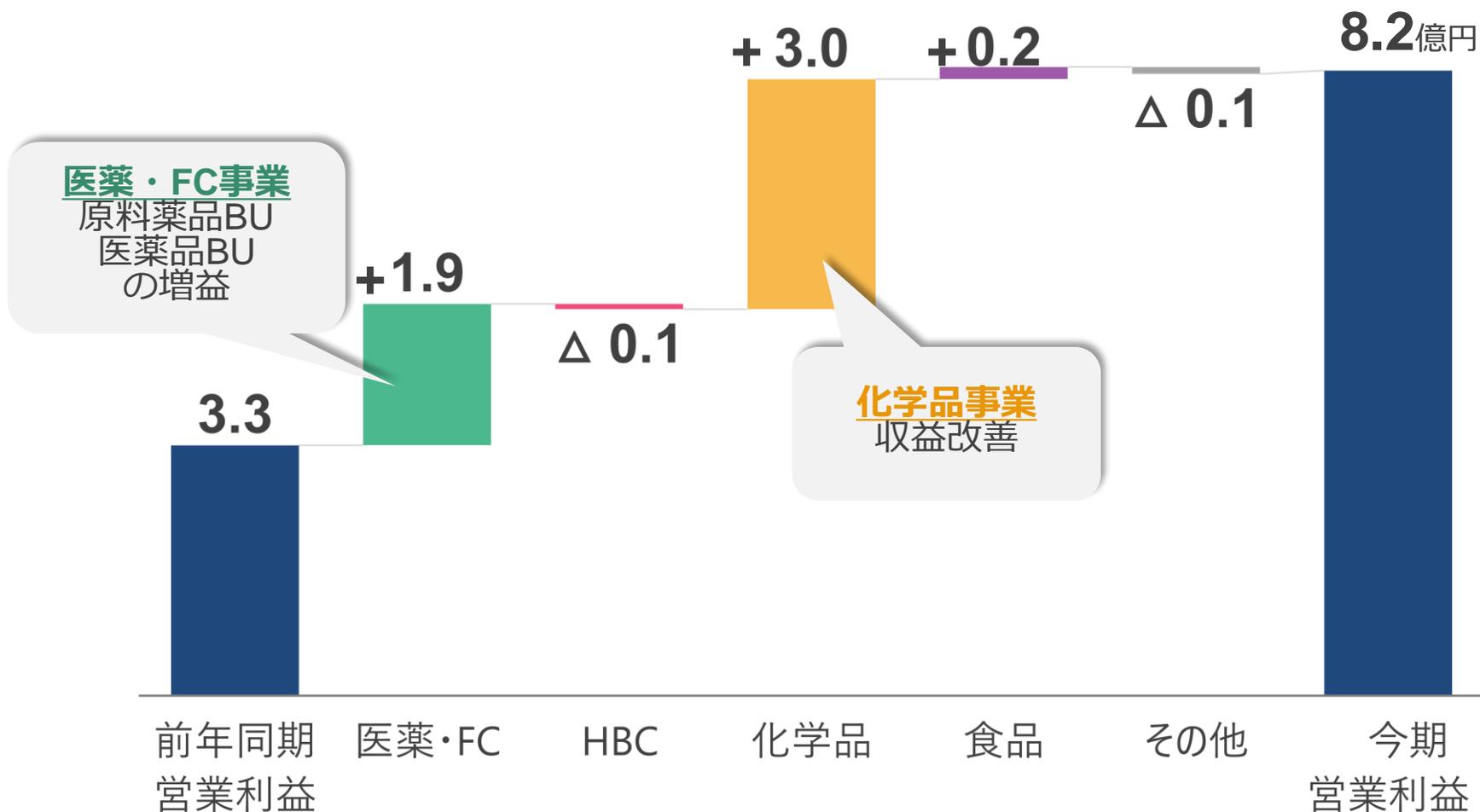
製造業の売上比率は約27%となった。

売上高 構成比	原材料製造	流通	製品製造	卸売	小売	計 (事業別)
医薬・FC 事業	原料薬品BU 17億円	55億円	医薬品BU 31億円	その他特約BU 6億円		105億円 38%
HBC事業		HBC原料BU 50億円		ファルマネットBU 52億円	オリジナル製品BU 12億円	114億円 41%
化学品 事業	表面処理薬品BU 19億円 表面処理設備BU 7億円	スペシャリティ マテリアルBU 5億円				30億円 11%
食品事業	食品BU 3億円	16億円				19億円 7%
その他				動物 薬卸 10億円		10億円 3%
計 (サプライ チェーン別)	46億円 16%	126億円 45%	31億円 11%	68億円 24%	12億円 4%	280億円 100%

※連結消去の記載を省略しているため合計が合わない場合があります。

セグメント別営業利益増減

医薬・FC事業の増益、化学品事業の収益改善により大幅な営業増益を達成。



セグメント別概況

前期から引き続き医薬・FC事業が業績を牽引、さらに化学品事業の収益改善も寄与。

セグメント分類

当期の概況

医薬品・FC	原料薬品BU	✓ アトピー性皮膚炎治療剤、抗真菌剤等の 主力外皮用剤の売上が大幅に伸長	
	医薬品BU	✓ 新規開発医薬品向け原料や治験薬原料の受託に伴う売上の増加 ジェネリック医薬品向け及び一般用医薬品向け原料も堅調に推移	
	その他特約BU	✓ 呼吸器シミュレーターや工業用薬品(氷酢酸)の新規採用による伸長	
HBC	HBC原料BU	✓ 新規自社企画品や新規取扱商品の販売、インバウンド及びアウトバウンド向け販売に成果が得られ堅調に推移	
	ファルマネットBU		
	オリジナル製品BU	✓ 売上高は好調に推移も、積極的な広告宣伝に伴う費用の増加から、営業減益	
化学品	表面処理薬品BU	✓ 国内販売は計画に対し堅調に推移 した一方、海外向けは新規採用が増えているものの計画には大きく及ばず	
	スペシャリティマテリアルBU		
	表面処理設備BU	✓ 次世代パッケージ基板が要求するL/S=5μm/5μmの現像装置の開発に着手	
食品	食品BU	✓ 天然調味料と農産加工品の新規受注獲得と関連会社製品の伸長による 営業黒字化	

I .決算概況

II .セグメント別の概況

III .トピックス

IV .今後の見通し

Ⅲ.トピックス

①皮膚のイワキ

	原材料 製造	流通	製品 製造	卸売	小売
医薬・ FC	原料薬品 BU		医薬品 BU	その他特約 BU	
HBC		HBC原料 BU		ファルマ ネットBU	オリジナル 製品BU
化学品	表面処理 薬品BU 表面処理 設備BU	スペシャリ ティマテリ アルBU			
食品	食品BU				
その他				動物薬卸	



皮膚に関連する商材

当社グループの「皮膚関連売上高」の構成比は約20%。

	分類	概算実績 (当第2四半期累計)	概要	製品例	
Topic 1	医薬 FC 岩城製薬	医療用医薬品 (うち受託)	20 億円 (5億円)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ジェネリック医薬品の製造販売 ✓ アトピー性皮膚炎治療薬、抗真菌剤など 	 <デビーナクリーム>
	HBC イワキ	一般用医薬品 (OTC)	13 億円	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 薬局、ドラッグストア向けの卸売り ✓ にきび治療薬、ステロイド外用剤など 	 <Baby Lotion>
Topic 2	HBC アプロス	化粧品	<ul style="list-style-type: none"> ✓ スキンケア化粧品の製造・販売 	 <シルキーカバー>	
	HBC イワキ	化粧品原料	7.4 億円	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 化粧品向けの原料の卸売り ✓ 基材(1,3-ブチレングリコールなど) 	 <オリーブオイル>
	医薬 FC 岩城製薬	ドクターズ コスメ	3.4 億円	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 株式会社資生堂と提携のうえ販売 ✓ 医療機関経由で販売 ✓ NAVISIONシリーズ 	 <NAVISION>

合計約**56**億円 (連結構成比約20%)

今後の検討領域

Topic 1

現在の「軟膏」「クリーム」「ローション」中心から、周辺領域への拡大を検討。

いままで

これから

外用剤

軟膏	●	●
クリーム	●	●
ローション	●	●
テープ剤・パップ剤	—	●
点眼剤	—	—
...	—	—

シエ
エア
アップ
さらなる

可能性の検討

APROS

Topic2

シルキーカバーオイルブロック 通販売上・化粧品下地部門※1

第1位

⇒ シルキーカバーオイルブロックが
通信販売部門の単品売上ランキングで**1位**を獲得

⇒ モンドセレクション**4年連続金賞**受賞

⇒ 累計出荷数**200万**個突破※2

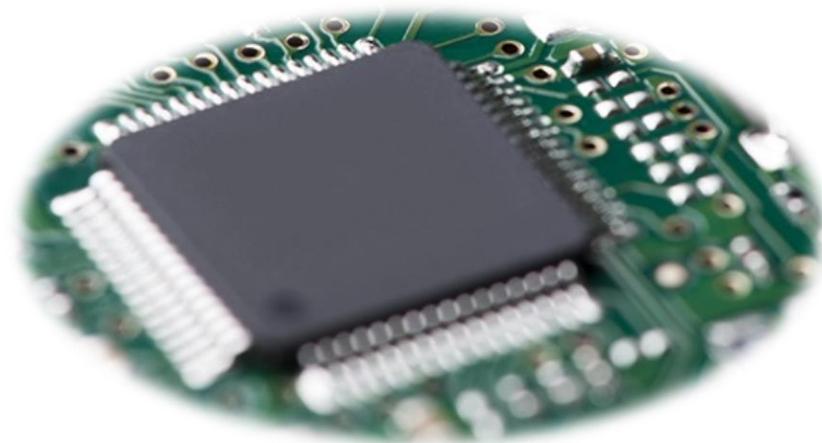


※1 TPCマーケティングリサーチ(株)「化粧品下地に関する市場調査」2016年 ※2 2017年3月時点

Ⅲ.トピックス

②半導体のイワキ

	原材料 製造	流通	製品 製造	卸売	小売
医薬・ FC	原料薬品 BU		医薬品 BU	その他特約 BU	
HBC		HBC原料 BU		ファルマ ネットBU	オリジナル 製品BU
化学品	表面処理 薬品BU 表面処理 設備BU	スペシャリ ティマテリ アルBU			
食品	食品BU				
その他				動物薬卸	



UBMプロセス

UBM (Under Bump Metal)

フリップチップ実装における半導体チップ電極上へのはんだバンプ形成において、はんだ/アルミ電極間に形成するバリア層 (Ni/Au)。



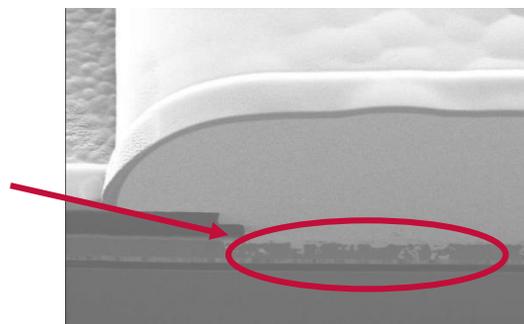
<はんだバンプの断面模式図>

メルプレートUBMプロセス

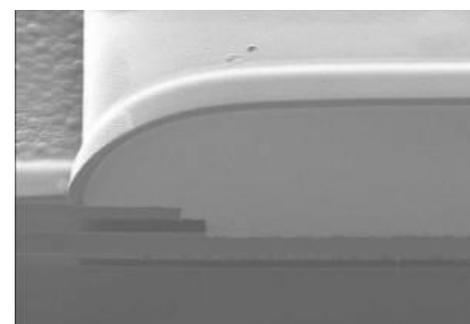
アルミ電極の局部腐食の効果的な抑制や平滑・均一なめっき皮膜形成により、優れたバリア性と接続信頼性を達成し、国内外10社で採用・量産稼働中。

さらに、パワー半導体などの銅ワイヤボンディング実装において、電極へのダメージ抑制のための保護層形成へと用途拡大。

アルミ電極の
局部腐食あり



<従来プロセス>



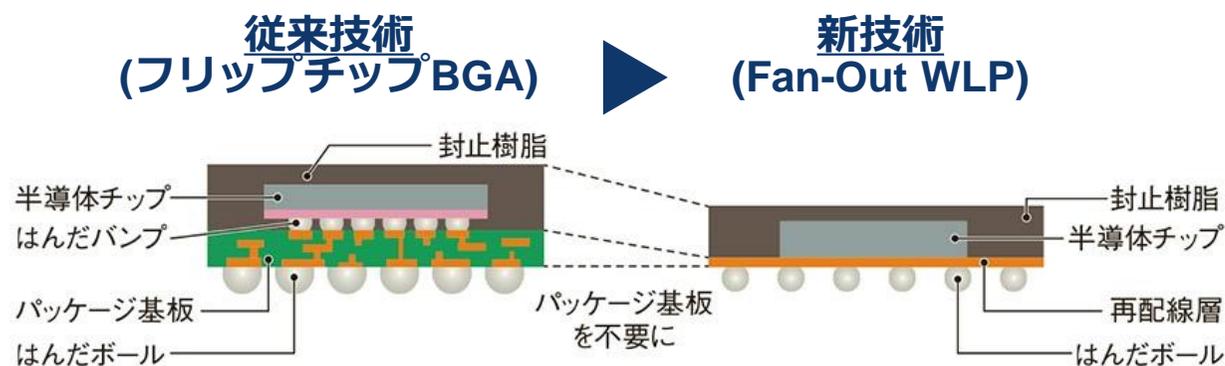
<メルプレートUBMプロセス>

Fan-Out WLP/PLP

半導体パッケージ製造の新技术であるFan-Out WLP/PLP技術開発に取り組む。

※Fan-Out WLP (Wafer Level Package) / PLP (Panel Level Package)

新技术の概要



※出典 日経テクノロジーOnline

特徴

パッケージを薄くできる

配線長が短く伝送が速い

パッケージ基板分低コスト

微細配線形成技術の開発

独Fraunhofer IZM 研究所
共同開発プロジェクト

微細配線技術

有機パッケージ基板や
半導体の配線形成で培った

Fan-Out WLP/PLP
技術開発

デファクトスタンダードを目指す

Ⅲ.トピックス

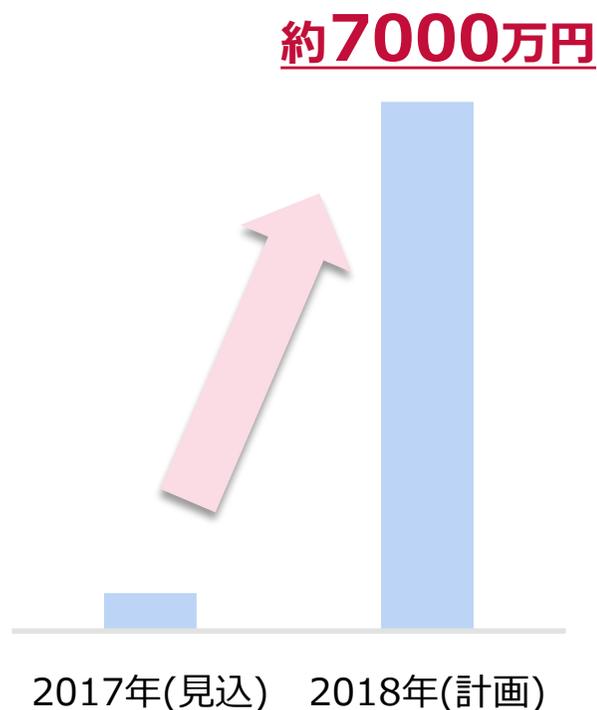
③FPCのイワキ

	原材料 製造	流通	製品 製造	卸売	小売
医薬・ FC	原料薬品 BU		医薬品 BU	その他特約 BU	
HBC		HBC原料 BU		ファルマ ネットBU	オリジナル 製品BU
化学品	表面処理 薬品BU 表面処理 設備BU	スペシャリ ティマテリ アルBU			
食品	食品BU				
その他				動物薬卸	

材料販売への取り組み

日本メクトロン社が開発したフレキシブル基板(FPC)向けの材料の販売を開始。
国内外の大手FPCメーカーと携帯端末メーカーの認定により量産販売の見込み。

販売見通



商品シリーズ

導電性接着剤シート

上市されている製品では一番優れた特性を持つ

黒カバーレイ

寸法安定性、マイグレーション特性に優れる

低粘着シート

品揃えの豊富さ

評価状況

評価中の顧客数: **3社**

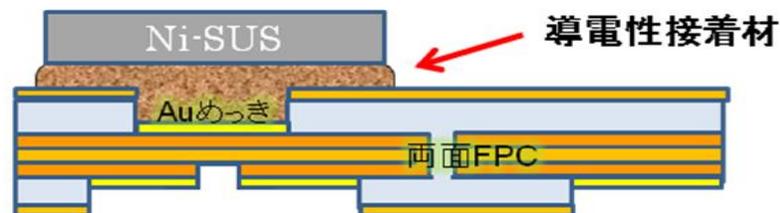
※市場調査の目的を兼ねているため大手メーカーに限定

導電性接着剤シート

基本特性、取扱い性のバランスがとれた優れた商品。

特徴

- ✓環境試験後も**良好な抵抗値を保持**
- ✓工程内での半製品保管に保冷を必要としない
ため、製造メーカーでの**取り扱いが非常に容易**



製品外観

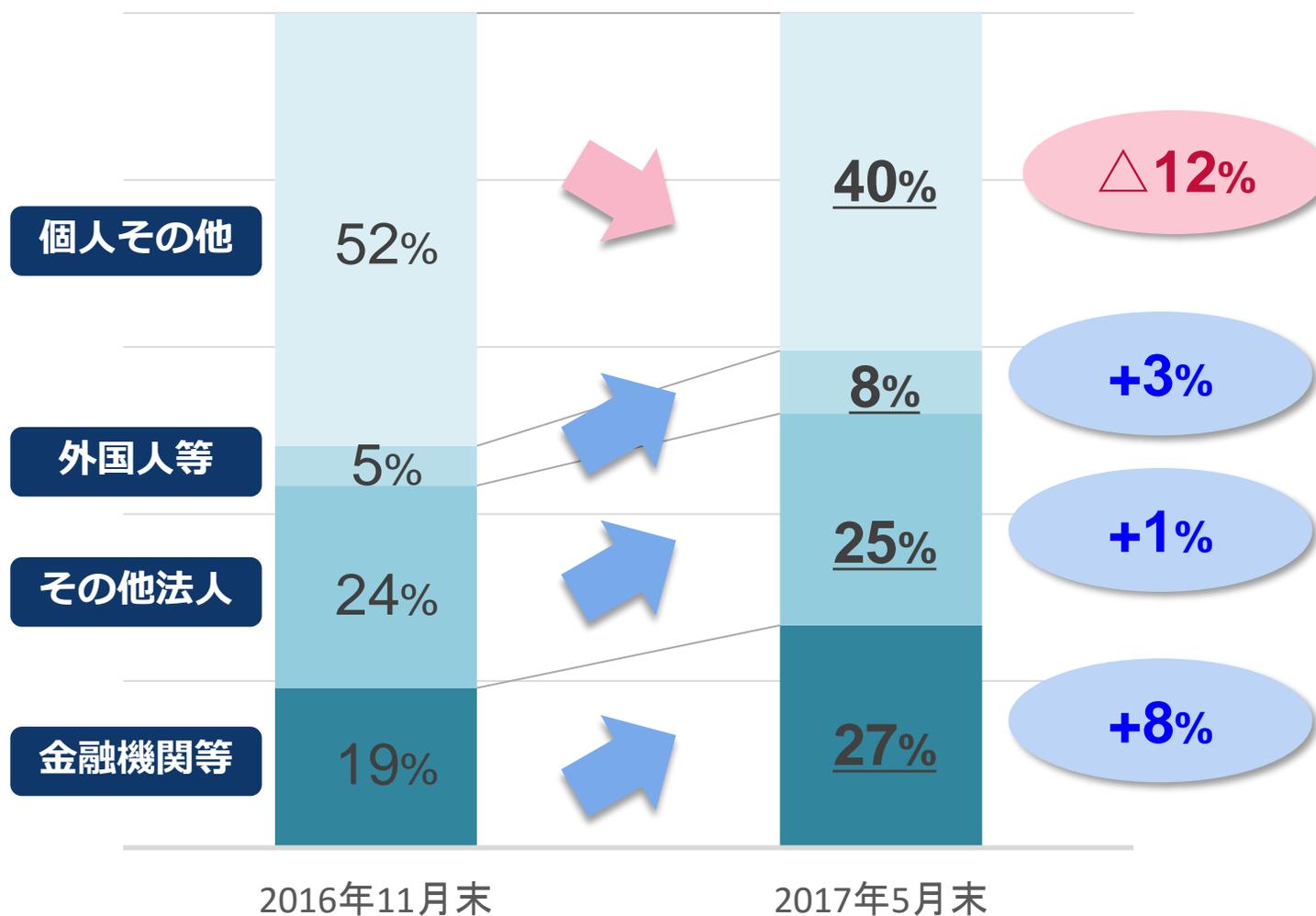


Ⅲ.トピックス

④ 株式関連

株主構成

前期末比で、株主構成は個人から法人へ大きくシフト。



株式報酬制度等の導入

2月の株主総会決議により、役員向け2制度、従業員向け1制度の株式報酬制度等を導入。

	制度	目的	概要
役員向け	業績変動 信託型 株式報酬	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 業績及び株主価値との連動性をより明確にするため ✓ 中長期的な業績の向上と企業価値の増大への貢献意識を高めるため 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 予め信託が株式を取得 432千株 140百万円* ✓ 業績に応じてポイントを付与 ✓ 退職時にポイントに応じて株式を交付
	固定 譲渡制限付き 株式報酬	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを与えるため ✓ 株主様との一層の価値共有を進めるため 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 新株発行 資本金等65百万円増 ✓ 譲渡制限5年間が付いた株式を交付
従業員向け	ESOP信託	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 成長を支える従業員に対する福利厚生制度をより一層充実させるため ✓ 株価上昇へのインセンティブを付与することにより、業績や株式価値に対する従業員の意識を更に高め、中長期的な企業価値の向上を図るため 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 予め信託が借入のうえ株式を取得 312千株 100百万円* ✓ 信託が持株会に株式を売却 ✓ 株価値上がり時に金銭を従業員に分配

※当第2四半期末残高

I .決算概況

II .セグメント別の概況

III .トピックス

IV .今後の見通し

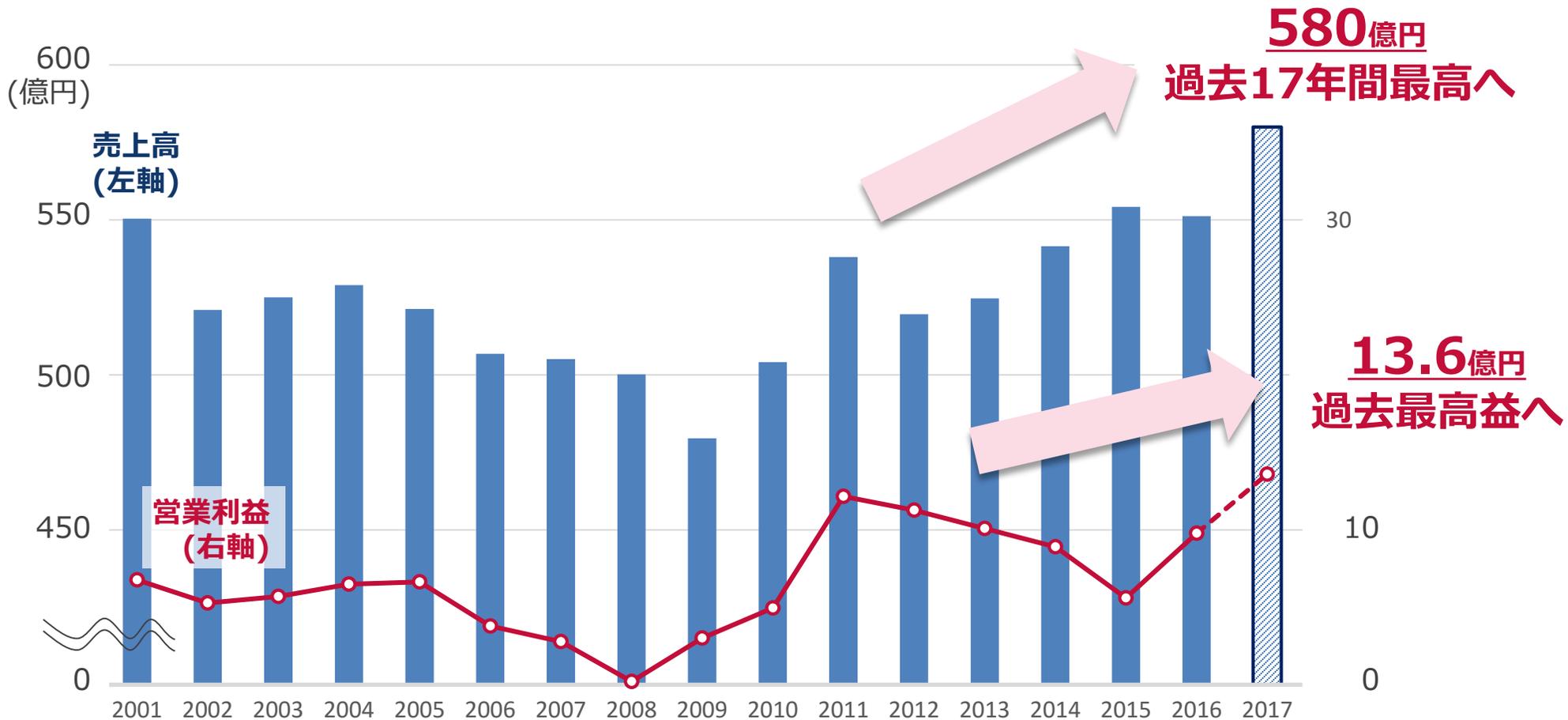
通期連結業績の見通し

2017年11月期は中期経営計画の第2年目として着実な成長、利益の確保を目指す。

	見通し	前期増減額	前期増減率
売上高	580億円	+29億円	+5.2%
営業利益	13.6億円	+3.8億円	+39.2%
経常利益	14.0億円	+3.3億円	+30.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	8.4億円	+8.3億円	+999.9%

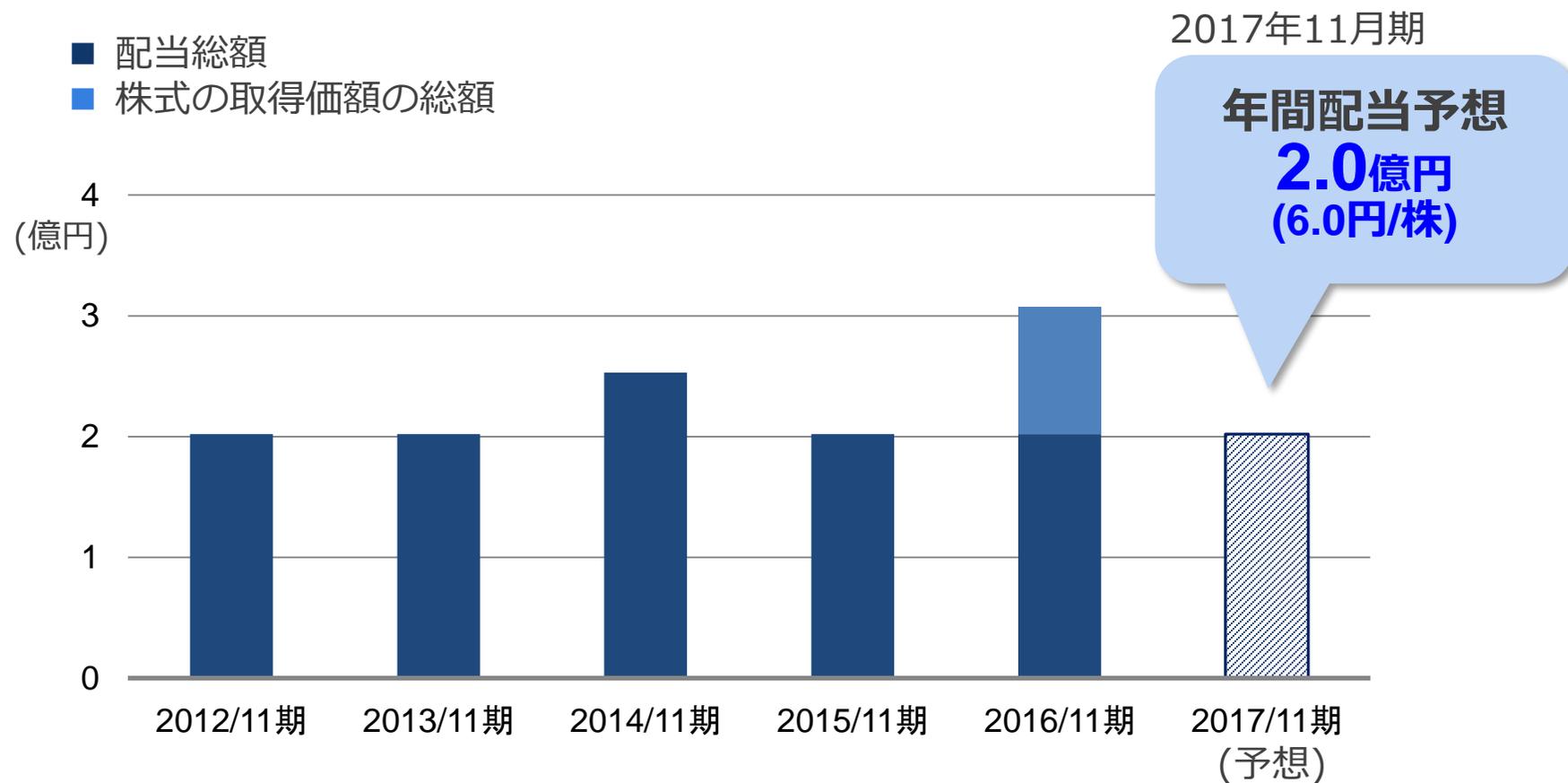
業績推移

増収傾向を維持のうえ、通期においても過去最高益を目指す。



株主還元

- ・ 継続的な配当を実施。
- ・ 資本効率の向上を主眼とした自己株式の取得(2016年4月実施)。



問い合わせ窓口
伊ワキ株式会社
管理本部 経営管理部
Tel:03-3279-0564

- 本資料の予想は、発表日現在において入手可能な情報及び一般的に認識されている経済・社会等の情勢に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の経営環境の変化等様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれています